

## 努力事項解説 その9（小学校音楽）（2013/12/20）

題材で育成する力を明確にし、表現領域（歌唱、器楽、音楽づくり）と鑑賞領域との関連を図りましょう。

題材で育成する力を明確にするとは、

音楽科における題材で育成する力とは、「その題材で扱う音楽を形づくっている要素（共通事項）を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもって表現したり、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考え、味わって聴いたりする力」です。

小学校学習指導要領解説音楽編では、共通事項を、「表現及び鑑賞のすべての活動において、共通に指導する内容を示している。したがって、〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の各活動を通して指導するものである。」と説明しています。

例えば、共通事項の中の「旋律、強弱」を扱う題材ならば、その題材で育成する力は、「旋律や強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを聴き取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもって表現したり、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考え、味わって聴いたりする力」となります。ですから、題材で扱う共通事項を明確にしておくことが重要となってきます。下記が共通事項です。

〔第1学年及び第2学年〕

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。

(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズ、などの音楽を特徴付けている要素

(イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み

イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

〔第3学年及び第4学年〕

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。

(ア) 音色、リズム、速度、旋律、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

(イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み

イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

〔第5学年及び第6学年〕

(1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。

ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。

(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

(イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み

イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

歌唱の学習で、**共通事項**の「**音色、リズム**」を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、指導内容である「歌詞の内容や曲想を生かした表現」とを関連させて表現を工夫して歌うことなどが考えられます。同様に、器楽の学習で、**共通事項**の「**強弱、音の重なり**」と、指導内容である「曲想にふさわしい表現」とを関連させたり、音楽づくりの学習で、**共通事項**の「**反復、問いと答え**」と指導内容の「音楽の仕組み」とを関連させたりすることなどが考えられます。

また、鑑賞の学習では、**共通事項**の「**速度、音階や調**」を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、指導内容である「曲想とその変化」とを関連させて聴き、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考え、味わって聴くことなどが考えられます。

(※ 小学校学習指導要領解説音楽科を参考にしています。)

### 表現領域（歌唱、器楽、音楽づくり）と鑑賞領域との関連を図る、とは

表現領域と鑑賞領域の関連を図るとは、「ひとつの題材で、**共通事項**をよりどころとして、歌ったり（歌唱）、楽器を演奏したり（器楽）、曲を創ったり（音楽づくり）、音楽を聴いたり（鑑賞）する活動を行う」と言うことです。

例えば、「**旋律、強弱**」という共通事項をよりどころとして、「ふじ山」を、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら表現を工夫して歌ったり（歌唱）、鍵盤ハーモニカで演奏したり（器楽）することや、併せて、「茶つみ」や「春の小川」などの日本のうたを、共通事項の「**旋律、強弱**」に着目して、楽曲の特徴や演奏のよさなどを考えながら鑑賞したりするような題材を設定することが考えられます。

このように、表現領域と鑑賞領域の関連を図ることで、音楽科の課題である『楽曲を歌えるようになることが目的ではなく、**題材や本時のねらい（この場合は、共通事項である「旋律、強弱」を感じ取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、それを表現や鑑賞に生かすこと）を達成することが目的**』ということを意識しやすくなりますので、積極的に関連を図っていく必要があります。



これで、努力事項の解説は終わりです。

次回から、小中学校音楽科の学習指導要領とその解説について、考えていきたいと思います。

12月27日（金）頃アップする予定です。